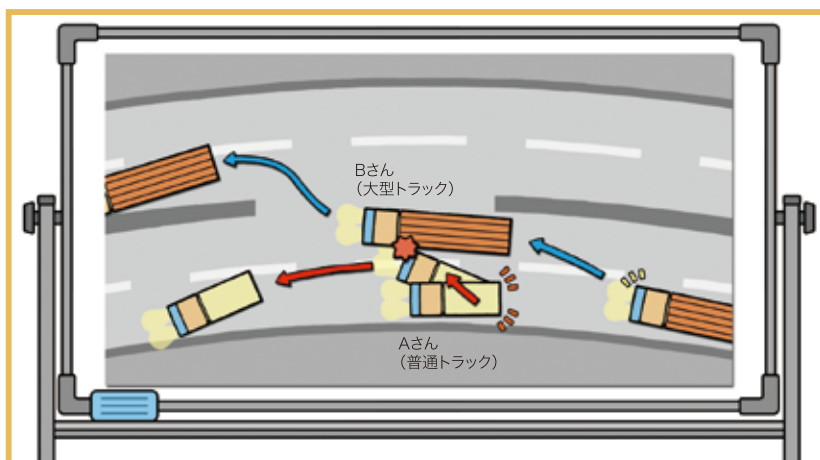


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、普通トラック、40代)は、交通量が閑散としていた早朝、中央分離帯で区分された往復4車線道路のややカーブしたところにある分離帯の切れ目で、Uターンしようとしていました。第一車線でハザードランプを点滅させ、一旦停止後に右にハンドルを切りながらゆっくり第2車線に進入したところ、後方からAさんを追い越そうと第2車線に進路を変更し走行してきたBさん(20代、男性)の大型トラックに右側面前部が衝突。Aさんはトラックを大破させ、重傷を負ってしまいました。

事故現場
略図



事故の原因

この事故にはいくつかの原因が考えられます。ひとつは、事故現場がややカーブしており、後方からくるBさんを確認しづらい状況であったにもかかわらず、AさんがUターンしようとしたこと。次に、ハザードランプを点滅したまま第2車線に進行したことが、Bさんに“Aさん

の車は停止するのではないかと誤解させる結果となりました。またBさんは前照灯を下向きにしたままで、Aさんの車を発見しても止まらない速度で走行していました。

安全運転に向けて指導のポイント

この事故を防ぐためには、そもそもUターンをしなくても済むような運行計画を立てることが望ましく、仮にUターンをする場合であっても後方確認がしっかりできる場所を選ぶべきでした。またハザードランプでは

なく、右の方向指示器を確実に出して慎重に進路変更することが必要でした。一方、Bさんは前照灯の照射範囲内で安全に停止できる速度で走行し、Aさんの車の動静に注意すべきでした。

今月の安全メモ!

- ・まずは安全な運行計画。Uターンは交通法規に則り、安全が十分に確認できる場所で行おう。
- ・本来の使用方法与異なるハザードランプ点滅は誤解のもと。正しい合図をしよう。
- ・夜間は前照灯照射範囲内で安全に停止できる速度で走行しよう。